

やまびこ

上越市立
安塚小学校
だより



R6. 2. 19

No.336

雪を楽しみ

春の陽気となった2月ですが、子どもたちからは「もう一度冬にならないかな」という声が聞かれます。というのは、「キャンドルロードのために、もっときれいな雪が必要!」とのことです。

小雪の冬でしたが、子どもたちは、しっかり雪を楽しむことができました。写真のXCスキーに取り組む子どもたちの後ろで重機が作業しています。雪冷房の雪入れも例年より1か月早く済ませました。「雪を楽しむ 雪を活用する」安塚を象徴する1枚です。

雪を活用する



5, 6年生はNPO雪のふるさと安塚代表の小松さんから、灯の回廊について学びました。

今から40年も前のこと「雪をやっかいものと思わずに、楽しむことはできないか」と考え、昭和57(1982)年、冬の楽しみとして安塚中学校グラウンドで雪像作りを始めました。その後、B & Gに場所を移し、茶屋、雪上運動会、ステージショー、民話「雪太郎」の演劇など活動を広げていったそうです。11回目から始まったキャンドルロードは、いまや上越市の冬の風物詩となった「灯の回廊」の原形です。昭和62(1987)年の「さよなら後楽園球場〜スノーフェスティバル」では、安塚から500台のダンプで雪を運び、球場に雪をしきつめるだけでなく、ジャンプ台まで作ったことで、「日本イベント大賞」を受賞したり新聞やテレビに取り上げられたりして、日本中に安塚の名前を広めました。

***** 児童の感想 *****

○安塚の人の「工夫する」「協力し合う」「地域を大事にする」という気持ちがあるから、「キャンドルロード」がずっと続いていることが分かりました。ばくも安塚を元気にしたいです。

○灯の回廊がまさかの安塚発祥だとは初めて知りました。雪の良さ、安塚の良さを感じました。

○雪を楽しいものに変えてしまう、安塚の人たちのパワー、アイデア、前向きな考えがすごいと思いました。

○今は、若い人たちが「山の上雪まつり」を開いて、手筒花火など新しい工夫や努力をされていてすごかったです。ばくたちの世代でも安塚を盛り上げていきたいと思いました。

私も興味をもってインターネット検索をしてみたら、当時のテレビ番組の紹介記事がアップされていました。検索ワード **雪国売ります** **検索** でトップに出ます。余談になりますが、そこに載っていた雪ダルマ型の発泡スチロールの中にワインが入っている贈答品の写真を見たときに「うちにもあった!」と瞬時に記憶がよみがえりました。それだけ当時はインパクトが強いことだったのです。



2月22日には、恒例の児童会行事ウインターフェスタを楽しみ、知恵を絞って小雪バージョンキャンドルロードの準備をします。ここでも安塚小学校の子どもたちが「地域の一員」として活躍します。ご期待ください。

児童の活躍

入選 2年

評:

ふるさと学習 ～人とながり、地域とつながる～

将来「ふるさと安塚」を語ることができる大人となるために

大島小との交流会（1月26日）



キューピットバレイでそりあそびを楽しんだ後に、学校で一緒に給食を食べました。交流も3回目、進んで声をかける姿が多くなりました。

上下浜小（柿崎区）との交流会（2月1日）



安塚の魅力をプレゼンしました。「発表が上手だった。魅力たっぷりの安塚に行きたいと思いました。」と感想が寄せられました。

「灯の回廊」学習会（2月6日）



「ぼくたちも協力して、灯の回廊の準備をがんばりたい。」「私たちも地域を元気にするお手伝いをしたい。」という思いをもちました。

大谷グローブ届きました



とても軽くて使いやすいです。まだ体育館でしか使えません。早く外でキャッチボールをしたいです。ぜひ授業参観のときにご覧ください。

〈3月の主な予定〉

4日（月）	6年生を送る会 学校図書館司書訪問
6日（水）	学校カウンセラー訪問
7日（木）	フッ化物洗口 ALT訪問
11日（月）	地域子ども会
12日（火）	健康チェック
13日（水）	学年末大清掃（～18日）
14日（木）	フッ化物洗口 ALT訪問 健康チェック
20日（水）	春分の日
21日（木）	3学期終業式 給食後3, 4, 5年生卒業式準備
22日（金）	第28回卒業証書授与式
25日（月）	離任式

